

聞いてみなんせ まことの道を 無理なおしえじゃ ないわいな  
きのう聞くのも 今日また聞くも ぜひに來いとのおよびごえ

六連島のお軽さん



3月4日(日)還暦のつどいを持たせていただきました。今年は、昭和32年の対象の方3名がご参加されました。本堂で「讃仏偈」のおつとめの中順次ご焼香、続いて教化団体の会長さんの焼香。住職法話、記念品授与記念撮影をしました。庫裡に移動して祝賀会です。



3月10日(土) 仏教壮年会例会。吉井会長より事業内容について報告、横山会計より報告がされ新年度に向けての話し合いが持たれました。おたがいのであい、ふれあいを楽しむ時間を多くつくり、参加しやすい雰囲気づくりをもっていこうとの話が出されました。5月26日(土)に総会を開催します。



3月31日鈴鹿組仏教婦人会総会・研修会が存仁寺本堂でもたれました。養宗寺杉谷さん声調による「讃仏偈」、

存仁寺副組長、丸橋会長挨拶後、総会で事業報告、会計報告、次年度計画案、予算案の審議。コーヒーとケーキのひと時後、『念仏者の生き方』に学ぶと題してご法話を味わいました。次期役員さんは昼谷地区。



芸濃地区の役員皆さまお疲れさまでした。



桜花爛漫花咲く春が駆け足で訪れてまいりました。

3月26日には西勝寺様にて「ちひろトークコンサート

の催しに存仁寺法喜コーラスの一員として私も聴聞させていただきご縁に預かり出席させて頂きましてほんとうに有難うございました。西勝寺様のご立派なお御堂満席の中、金子みすず様のお念仏の心の詩をちひろ様の美しい容姿からお声、トークと総てに陶醉し心の靖ぎおぼえ感動し楽しく尊い刻を過ごさせて頂きました。

合掌 落合登代子



無量寿会例会 3月は会員追悼法要でした。井関会長のご挨拶、「仏説阿弥陀経」を皆さんでおつとめ、順次ご焼香です。休憩では、桜餅をいただきました。住職法話では、人生の節目、長寿の心得のお話でした。ほのぼののタイムでは、井関会長が、お手玉、おはじき、めんこ、こま、紙ふうせん、けん玉、ビー玉、竹とんぼなど懐かしい遊びを持ってこられました。しばらくは、童心に



戻ったように皆さんで楽しみました。4月5日(木)は、はなまつりと総会です。

無量寿会は、宗派もお寺も関係なくどなたでも参加していただけます。

一緒に、楽しいひと時を持ちましょうよ。ご参加お待ちしております。



今年の北海道の冬は、特に札幌は雪が少なくて玄関前の雪捨て回数が少なくて良い年だなんて思っていました。2月末から3月初めに懸けて大雪が降りました。何故この時期にと思わざるをえない程に雪が降りました。結局は例年通りの降雪量でした。その大雪も、ここ数日の気温上昇にて雪解けが進んでいます。トコロニ依っては雪解け水に依る災害も多発しています。ところで、最近は、自分の過去を見直すチャンスに遭い、その場面を書き残すことが有ります。昭和60年末に、時の上司との軋轢から、何の取引も無い名古屋の会社へと出向に出されましたが、その時分に同社が北海道へ進出する計画が有り、その先兵として、その任が私に下り、千歳の第三工業団地の板金屋の跡地に工場を構えました。社員は私と、自衛隊を退任した五〇代の男性2人でした。彼に会社の留守番を頼み、私は会社の販売品を持って、全道に拡販に歩きました。少しずつですが実績も数字と為って表れましたが、取扱い製品を北海道でも製造することになり、早急に、その準備をすること仰せつかり、会社に寝泊まりしながら、その準備を整えました。製造会社としての体制を整え、冬を迎え社員の待遇を考えた時に、名古屋の本社には無い、北海道在勤手当(石炭、暖房手当)の支給を、社長にお願いしたところ、意外な言葉が飛び出しました。「寒かったなら一枚多く着れ」&「てめえの蠅も追えないくせに」社長が言われる言葉のアクセントが名古屋弁で、私には可笑しく聞こえました。熱心に社長に掛け合い、私の籍が有る会社は、支給している旨を伝えたところ社長のプライドに火が点いたのか、支給を認めてくれませんでした。もちろん、将来を期待してのことだったと思います。その社長も往かれました。懐かしい話になりました。

北海道大島義勝さん

「てめえの蠅も追えないくせに」

「四十代の始め、上司との軋轢で突然に出向辞令を拝命し、その出向先で死にモノ狂いで働いた社員を採用し業務も軌道に乗り半年が過ぎた頃

採用した社員の待遇の改善を、真剣に見直した北海道の冬は、各業界で暖房手当が支給される

「採用した社員の待遇の改善を、出向先の社長に掛け合ったところ意外な言葉が返って来た

「寒かったなら一枚多く着れ」

「てめえの蠅も追えないくせに」

思いもしなかったが、名古屋弁が可笑しかった

「北海道の生活事情と、他社での対応を紹介した私の籍が有る会社の対応状況を紹介したところ

期待以上の強気回答が社長の口から飛び出したお前の籍が有る日会社と、同じ金額を支給する

社長の言葉に、将来を期待する気持ちが見えた

「それにしても言葉と、裏腹な対応には感服した当然な事だが、将来への安堵感が明るく見えた

「てめえの蠅も追えないくせに」か・・・

あの名古屋弁の社長も今は居ない、先に往った言葉は汚いが、心の大きな丁社長が懐かしい。

鶴姫の

龍にゆられて

嫁ぎゆく

田丸のお城は

春のおとづれ

春風に

桜花まひ靡る

山寺の

庭いち面に

朝日さしくる

春風に

ふはりふはりと

誘はれて

花の胞子は

いづこかへ飛ぶ

東京 小笠原孝枝さん



卯月の句

春光に阿弥陀のや顔も微笑ぬ

見上げれば明日咲く桜の蕾かな

茶柱の立ち朝飼や春はそこ

待春の樹林けぶらせ雨止る

割箸のシヤツと割れ桜満る

九十路や今年の桜賞ひくかな

我が影の盗まれそうも春月光

春風

今大切なことは

かきでもなく

一呼吸一呼吸の今である

梅田コマ劇場にて

老子

那由他の刻の

細雪

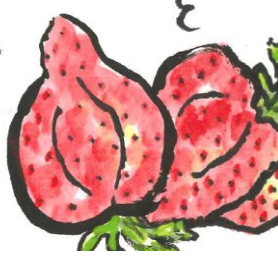
梅田コマ劇場にて

老子

那由他の刻の

細雪

梅田コマ劇場にて



朝倉市 森田瑛子さん

札幌市大島光子さん



心豊かになる



春爛漫の候。今年は少し早い満開の桜。たよりが届く頃には景桜に。「咲いた花には価値が有り、散った花には意味がある」とであったことがありました。なもあみだぶつ。どうかくれぐれも、おだいじにて、